

# 消費税率引き下げ署名を国会提出

2020. 6. 2

10月から取り組んできました「消費税率の引き下げを求める国会請願署名」について、これまでに集まった431筆分を開催中の通常国会に提出します。

国会提出には国会議員の紹介が必要です。前号で報告した「消費税緊急減税要望書」とともに近畿エリア選出の衆参国会議員全員に署名紹介のお願いを送付するなどして働きかけた結果、3人の議員に紹介をお引き受けいただくことができました。



今回、署名紹介をお引き受けいただいた国会議員（写真は各党 web サイトより）

村上史好衆議院議員  
(比例近畿、立憲民主党)



岸本周平衆議院議員  
(和歌山1区、国民民主党)



清水忠史衆議院議員  
(近畿比例、日本共産党)



## 「消費税率引き下げを求める署名」を更に広げましょう!

引き続き「消費税率の引き下げを求める署名」を広げましょう!

次の提出時期は、現在の衆議院議員の任期が満了する2021年10月21日までに必ず衆議院選挙が実施されますので、その前に提出したいと考えています。

なお、署名は開かれている国会毎に提出できますので、これまでに署名された方も再度署名していただければ提出OKです。

署名用紙は同封のものをコピーするか、webサイト <https://hb8.seikyoku.ne.jp/home/o-shoudanren/kansairen/img/201910signature.pdf> からダウンロードしてご利用ください。

<なんば署名宣伝行動を再開します>

covid-19のため、5月と6月は休止しましたが、7月1日(水)11:30~から再開します。スタンディング中心の行動とする予定です。ご参加下さい。

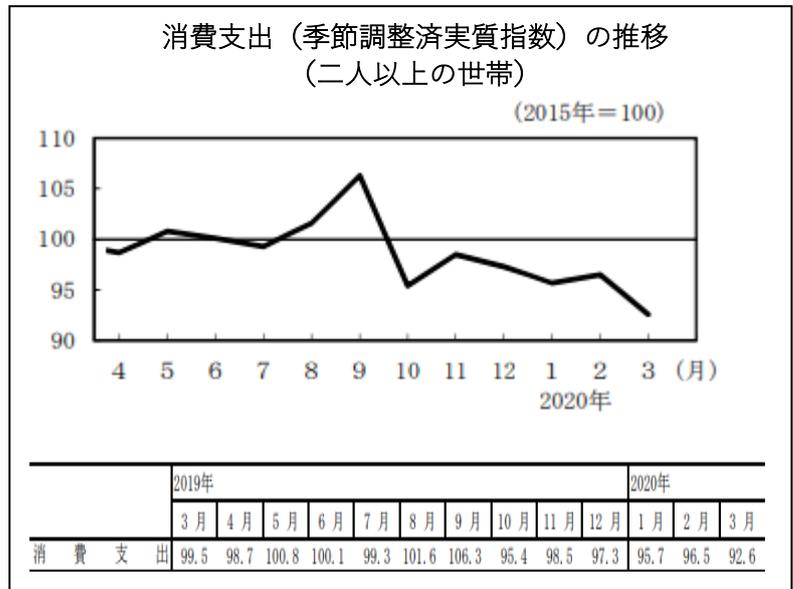
<https://twitter.com/shouhizeikansai>

# 今、暮らしを守り、景気回復を進めるために 消費税率引き下げが必要です

3月分の総務省の家計調査によると、消費支出（二人以上の世帯）は前年同月比実質 6.0%の大幅な減少です。

この間の消費支出の推移を 2015年=100 とする実質指数でみると、消費税 10%への増税前に 100 前後だったものが、増税後の 10月～2月では 97 前後に減少し、3月分ではそこに covid-19の自粛が加わって 92.6 まで落ち込みました。

(右図)



政府は第1次、第2次の補正予算を組んで緊急経済対策を実施しつつあります。その内容や実施スピードについても批判がありますが、この緊急経済対策全体が covid-19 への対策中心で、消費税増税が消費を押し下げ、格差と貧困を拡大している現状に目を向けていないという意味で大きな欠陥を持っています。

私たちの暮らしを守り、景気回復を進めるための抜本的な経済対策として、消費税率の引き下げをその中心に据えることが求められています。

「消費税率引き下げを求める署名」を広げ、今、政治を動かしましょう！

## WEBサイトをリニューアル！

消費税関西連の web サイトをリニューアルし、スマホでも見やすくしました。QRコードまたは下記アドレスでアクセスしてください。

<https://hb8.seikyoku.ne.jp/home/o-shoudanren/kansairen/index.html>

\* twitter でも情報発信中。フォローお願いします。

